

看護管理学特論

単位数：2単位

津本優子：基礎看護学講座教授

内田宏美：天理医療大学

1. 科目の教育方針

看護専門職には、社会のヘルスニーズに対して看護の仕事の仕組みを自ら変革し、創造していく能力、保健医療福祉等の関連サービスに携わる人々と連携・協働して活動する実践能力が求められる。質の高い看護を実現するためには、組織やチームの中でメンバーを巻き込んでそれを具現化していくためのマネジメントの機能が働かなければならない。組織やチームの看護活動をマネジメントする能力は、看護管理者のみならず、CNS や大学院修了者などの高度看護実践者に必要不可欠な能力として期待されている。

看護管理における課題の解決にあたっては、保健医療そのものの知識のみならず、心理学、教育学、社会学、経営学などの多岐にわたる学問領域の知見と成果を活用することが求められる。看護に関連する保健医療システムの現状と問題点の特性を理解した上で、関連する諸理論の枠組みを活用して看護管理上の問題を批判的に分析し、関係する組織・チームの調整・協働のもと解決していくための基礎的能力の修得を育成する。

2. 教育目標

- 1) 看護管理学の歴史と背景を理解し、今日の保健医療福祉システムの中での看護管理の位置づけと課題を展望できる。
- 2) 組織管理に関する諸理論を活用して、看護実践・教育・研究の場における諸現象を看護管理の視点で批判的に分析することができる。
- 3) 看護マネジメントに関する現実的な問題に対して、原因を分析し、関係する組織・チームの調整・協働を基盤とした具体的かつ効果的な解決策を計画・実行・評価する試みを通して、看護管理の問題解決過程の方法を習得する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 基本的にゼミ形式で実施し、学生の課題に対するプレゼンテーションに基づいて討論し、学習を深める。
- 2) ゼミは、Teams によるライブ配信を中心とする。
- 3) 看護管理における発生型問題に焦点を当て、原因を分析し、戦略的解決策を検討する。

【評価】レジュメ、発表、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。

4. テキスト

《講読テキスト》

1) 大串正樹『ナレッジマネジメント 創造的な看護管理のための12章』医学書院、2007
《基本・参考テキスト》…(貸し出し可)

- 1) 内野崇『変革のマネジメント』生産性出版、2006
- 2) オーラ・リー・ストリックランド他：看護アウトカムの測定、エルゼビア・ジャパン、2006

5. 教育内容

火曜：18:30~20:00

回	月/日	内 容	講師
1	4/12	I. 看護組織論 ・集団と組織 ・組織論の系譜（官僚制の特徴と逆機能・近代組織論・ネットワーク）	内田
2	4/19	I. 看護組織論 ・医療組織の特徴、専門職支配と権威勾配	
3	4/26	I. 看護組織論 ・効果的な看護マネジメントのための関係する組織・チームの組織化、協働とチーム・マネジメント	
4	5/10	II. 看護サービス・マネジメント論 ・看護サービスという考え方 ・看護サービス提供プロセス	津本
5	5/17	II. 看護サービス・マネジメント論 ・看護サービスの標準化と看護の質保証、プロセス・アウトカム評価	津本
6	5/24	III. 看護管理者論 ・リーダーシップとは何か ・リーダーシップ論の系譜	津本
7	5/31	III. 看護管理者論 ・変革理論と組織変革 ・組織文化の変革とリーダーシップ	津本
8	6/7	III. 看護管理者論 ・学習する組織を生み出す看護管理者のリーダーシップ	津本
9	6/14	IV. 看護管理プロセスと問題解決の技法 ・発生型問題の解決手法①（演習）	津本
10	6/21	IV. 看護管理プロセスと問題解決の技法 ・発生型問題の解決手法②（演習）	津本
11	6/28	IV. 看護管理プロセスと問題解決の技法 ・発生型問題の解決手法③（演習）	津本
12	7/5	IV. 看護管理プロセスと問題解決の技法 ・発生型問題の解決手法④（演習）	津本
13	7/12	V. 看護管理プロセスと問題解決の実際 ・看護管理研究のクリティーク	津本
14・15	7/19	V. 看護管理プロセスと問題解決の実際 ・学会発表のクリティーク	
		まとめ課題レポート ・看護管理における問題解決過程の展開と評価 ⇒実践を評価し、次の課題を明確化し、実践を方向付ける	津本